

自主防災会防災行動マニュアル策定のためのガイドライン（概要版）

ガイドラインの構成及び策定の進め方

防災行動マニュアルを策定する前に

- 地域の実情と被害想定を確認する（災害図上訓練・タウンウォッチングの実施）
- 防災マップの作成・見直し
- 情報伝達の方法を検討する（緊急連絡網の整備）

災害対応編の策定（策定が最も必要な災害事象から着手）裏面参照

【地震編】

- 地震発生後の流れと主な活動
- 自主防災会本部の設置
- 役割分担
- 被害状況の把握・安否確認の方法
- マニュアルの作成
- 防災行動シートの作成

【水災害編】

- 浸水深ごとの避難基準
- 水災害発生までの流れと主な活動
- 緊急避難場所の開設
- 役割分担
- マニュアルの作成
- 防災行動シートの作成

【土砂災害編】

- 居住地域による避難行動の一例
- 土砂災害発生までの流れと主な活動
- 緊急避難場所の開設
- 役割分担
- マニュアルの作成
- 防災行動シートの作成

【日常対策編】（必要に応じて策定）

- 防火防災知識の普及啓発
- 防災訓練の実施
- 地域の安全点検、防災マップ・緊急連絡網の定期的な見直し
- 防災器材の整備・点検
- 要配慮者の安否確認・避難支援
- 家庭内の防火・防災対策

【資料編】（必要に応じて策定）

- 防災行動マニュアルに添付する資料
情報伝達文の作成
- 防災用語集
- 情報収集先一覧

防災行動マニュアルが策定出来たら

- 自主防災部の防災行動の見直し
- 地域住民へ周知する
- 防災訓練等を通じて検証・見直し

自主防災会防災力チェックシート

防災力の現状を客観的に確認するためのチェックシートを添付



平成26年度にモデル学区自主防災会にマニュアル内容を検証していただいた結果や御意見を、事例紹介として掲載しています。

災害対応編を策定する【地震編】

大地震が発生した際、どのような流れで活動をするのか、活動内容や役割分担についてあらかじめ決めておき、早めに対応することができれば、被害を最小限にとどめることができます。いざというときに慌てずに済むよう、また被害が最小限となるようなマニュアルを作成していただくため、ページに沿って進めていけば作成していただけるように各項目を記載しています。

○ 地震発生後の流れと主な活動

地震発生後の自主防災会、自主防災部、各種団体、地域住民等の動き

○ いつ 自主防災会本部を設置するか（避難所を開設するか）

自主防災会本部の開設基準（避難所の開設基準）を決める

○ 誰が何をするのか（役割分担）

避難所の開設、学区内の被害状況の把握（情報収集・情報処理）、消火活動、救出・救護、応急救護所などリーダーとなる担当者を決める

○ 被害状況の把握・安否確認の方法

必要な防災活動を実施するため、被害状況の把握や安否確認の方法を決める

○ 防災行動マニュアルの作成

災害発生時に実施する項目（防災活動）について、具体的に検討し、マニュアルとしてまとめる

**みやご学区自主防災会
防災行動マニュアル（地震）**

作ってあたり
ころから役に
なります。

1 自主防災会本部を設置するとき

- 学区内に震度5以上の地震が発生したとき
- 学区内に地震による被害が発生し、避難者の出るとき

2 震災直後の対応（初期措置）

- 自分の身を守るなど、各自の行動措置をとる
- 家族の安否確認。隣近所に声を掛けて地域の集合場所へ移動する（役員は自分自身が標準であること。避難所へ向かうことを伝える）
- 役員・避難所（自主防災会本部を立ち上げる場所）へ移動する
- 必要物品を持っていく（防災行動シートを確認する）

3 自主防災会本部の設置

- 避難所の開設準備をする → 避難所運営マニュアル参照
- 避難所開設のための各種団体長へ連絡する
- 自主防災会本部を立ち上げる → 必要物品準備（防災行動シートを確認する）
- 役割分担を確認する

4 情報収集（○）、情報処理（○）

- 各自自主防災部から安否確認表を受け取り、避難状況・被害状況等の情報を収集する
- 3時間たっても報告がない、避難所に来ない自主防災部の被害状況を確認する（防災活動に協力できる住民の中から確認に行ってもらう）
- 入手した情報を整理して、学区全体の被災状況、活動状況等をホワイトボードと地図に記述する
 - 火災発生状況 ○ 負傷者数 ○ 避難者数
 - 建物損壊状況 ○ 通行できない箇所
 - 地震の規模 ○ 京都府、気象庁等の発表情報
 - 関係機関等との連絡を共有する。（電話等は緊急連絡網で確認）
 - [] 区役所 ○ [] 消防署 ○ [] 警察署
 - [] 土木事務所 ○ [] 学区自主防災会（隣接学区）
- 被害があれば、消防団に連絡し連携して活動する

5 消火活動

- 集まった消火器やバケツなどの器材を1箇所に集める
- 被害が大きく、防災活動に人手が足りない自主防災部（町内会）へ、防災活動に協力できる住民で応援に行く
- 現在の活動や、被害状況について情報処理担当に報告し、情報を共有する
- あらゆる手段で消防団、消防員に連絡し、消火活動を実施してもらう
- 火に囲まれて、逃げ道をふさがれないように必ず見張りをつける

6 救出・救護活動

- 防災器材格納庫から防災器材を取り出し、集まった器材と一緒に1箇所に集める
- 被害が大きく、防災活動に人手が足りない自主防災部（町内会）へ、防災活動に協力できる住民で応援に行く
- 現在の活動や、被害状況について情報処理担当に報告し、情報を共有する
- あらゆる手段で消防団、消防員に連絡し、救出活動を実施してもらう

7 応急救護所活動

- 応急救護所をみやご小学校保健室に設置する
- 必要器材を準備し、集まった器材と一緒に保健室に集める
- 応急救護所で応急救護を実施する
- 応急救護へ搬送する必要がある負傷者を、伝える手段を用いて搬送する
問い合わせ ○ みやご病院 ○ みやご総合病院
方法 ○ 車 ○ 車 ○ リキカー ○ 応急救護 ○ 車いす ○ おんぶ

8 その他

- みやご中学校には自主防災会本部を設置し、副会長をリーダーとする
- 中学校の生徒が学校に残っている場合は、学校内での防災活動に協力してもらうようお願いする
- 避難所運営する住民が確保されれば、避難所運営協議会に対応をお願いする
- 火災が拡大し危険なときは、安全ルートを通って広域避難場所（郡川河川）へ避難する

添付資料

防災マップ、緊急連絡網、自主防災部一覧、役割分担表、防災器材一覧表、情報伝達文

○ 防災行動シートの作成

災害発生時に慌てずに行動ができるよう、また、マニュアルを読まなくても行動できるよう、フローチャート図やチェックシートタイプの防災行動シートを作成する

みやご学区 自主防災会長（本部役員含む）

防災行動マニュアル（地震編）
災害が起こったときは以下の要領で行動を！

震度5弱以上の地震が発生した場合は避難所を開設
（*みやご小学校ふれあいホールに自主防災会本部設置）

地震発生時（避難から確認しておくこと）	
<input type="checkbox"/> 目的の集合場所の確認	<input type="checkbox"/> 安否確認
<input type="checkbox"/> 避難所へ集合	<input type="checkbox"/> 安否確認
避難所開設準備	
<input type="checkbox"/> 避難所の安否確認	<input type="checkbox"/> 避難所出動準備
<input type="checkbox"/> 避難所の開設準備（避難所開設しなくても避難所）	<input type="checkbox"/> 避難所開設に必要物品の準備
<input type="checkbox"/> 避難所の安否確認	<input type="checkbox"/> 避難所の開設準備
<input type="checkbox"/> 避難所の開設準備	<input type="checkbox"/> 避難所の開設準備
<input type="checkbox"/> 避難所の開設準備	<input type="checkbox"/> 避難所の開設準備
避難所開設後に実施すること	
<input type="checkbox"/> 自主防災会本部の立ち上げ	<input type="checkbox"/> 避難所に集まる情報収集
<input type="checkbox"/> 自主防災部員の安否確認	<input type="checkbox"/> 学区の状況に関する情報収集（安否確認）
<input type="checkbox"/> 関係機関との連絡（区役所等）	<input type="checkbox"/> 関係機関との連絡（消防団等）
<input type="checkbox"/> 学区内の被害状況の確認	<input type="checkbox"/> 避難所の開設（避難所運営マニュアル）

みやご学区 避難所

①みやご小学校
②みやご中学校
（避難所数が、みやご小学校の許容を超えた場合、自主防災会の判断で開設）

※ 避難所開設に必要な要領

<input type="checkbox"/> 避難所の開設	<input type="checkbox"/> 避難所の開設
<input type="checkbox"/> 避難所の開設	<input type="checkbox"/> 避難所の開設
<input type="checkbox"/> 避難所の開設	<input type="checkbox"/> 避難所の開設
<input type="checkbox"/> 避難所の開設	<input type="checkbox"/> 避難所の開設

災害対応編を策定する【水災害編】

水災害は、地震に比べて事前予測が可能なので、災害に備えることができます。まず、地域で想定される浸水想定を把握し、いつ（時間、状況）、何を（防災行動）、誰が（実施者）をあらかじめ決めておき（このような事前計画を「タイムライン式行動計画」といいます。）、早めに対応することができれば、災害発生時には避難行動が完了し、被害を最小限にとどめることができます。いざというときに慌てずに済むよう、また被害が最小限となるようなマニュアルを作成していただくため、ページに沿って進めていけば作成していただけるように各項目を記載しています。

○ 浸水深ごとの避難基準

浸水深・自宅の状況による避難基準			
	河川沿いの家屋	平屋建て	2階建て以上
浸水深3m以上	緊急避難場所、近隣の安全な建物へ水平避難		
浸水深50cm～3m	緊急避難場所、近隣の安全な建物へ水平避難		上階に垂直避難
浸水深50cm未満	緊急避難場所、 近隣の安全な建物へ水平避難	自宅に待機	

○ 水災害発生までの流れと主な活動

水災害発生前・後の自主防災会、自主防災部、各種団体、地域住民等の動き

○ いつ 緊急避難場所を開設するか

緊急避難場所の開設基準を決める

○ 誰が何をするのか（役割分担）

緊急避難場所の開設、水防活動に使用する資器材の点検・準備、パトロール、要配慮者に対する情報伝達などの担当者を決める

○ 防災行動マニュアルの作成

災害発生前から実施する項目（防災活動）について、具体的に検討し、マニュアルとしてまとめる

○ 防災行動シートの作成

災害発生時に慌てずに行動ができるよう、また、マニュアルを読まなくても行動できるよう、フローチャート図やチェックシートタイプの防災行動シートを作成する

災害対応編を策定する【土砂災害編】

水災害は、地震に比べて事前予測が可能なので、災害に備えることができますが、土砂災害は、事前予測が非常に難しい災害です。地域で想定される浸水想定、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域の指定状況、土砂災害危険箇所の設定状況を把握しておくことが重要です。そのうえで、土砂災害に対する防災行動について、いつ（時間、状況）、何を（防災行動）、誰が（実施者）をあらかじめ決めておき（このような事前計画を「タイムライン式行動計画」といいます。）、早めに対応することができれば、災害発生時には避難行動が完了し、被害を最小限にとどめることができます。いざというときに慌てずに済むよう、また被害が最小限となるようなマニュアルを作成していただくため、ページに沿って進めていけば作成していただけるように各項目を記載しています。

○ 居住地域による避難行動の一例

指定地域・自宅の状況による避難基準			
	崖地・溪流沿いの家屋	平屋建て	2階建て以上
土砂災害特別警戒区域	緊急避難場所、区域外の安全な建物へ水平避難		
土砂災害警戒区域	緊急避難場所、近隣の安全な建物へ水平避難	崖や溪流から離れた上階の部屋へ垂直避難	
それ以外の地域	緊急避難場所、近隣の安全な建物へ水平避難	自宅に待機	

*避難の時機を失した場合等の緊急時には、自宅内の崖や溪流から離れた上階の部屋、近隣の丈夫な建物へ避難します！

○ 土砂災害発生までの流れと主な活動

土砂災害発生前・後の自主防災会、自主防災部、各種団体、地域住民等の動き

○ いつ 緊急避難場所を開設するか

緊急避難場所の開設基準を決める

○ 誰が何をするのか（役割分担）

緊急避難場所の開設、パトロール、要配慮者に対する情報伝達などの担当者を決める

○ 防災行動マニュアルの作成

災害発生前から実施する項目（防災活動）について、具体的に検討し、マニュアルとしてまとめる



○ 防災行動シートの作成

災害発生時に慌てずに行動ができるよう、また、マニュアルを読まなくても行動できるよう、フローチャート図やチェックシートタイプの防災行動シートを作成する

みやこ学区 自主防災会長（本部役員含む）

防災行動シート【土砂災害】

災害が起こったときは以下の要領で行動を！

土砂災害警戒情報又は避難準備情報が発令されたとき→緊急避難場所を開設（※みやこ中学校 多目的ルームに宛先本部設置）

緊急注意報・警報発令時	
<input type="checkbox"/> 緊急情報の入手 <input type="checkbox"/> 防災マップやテレビなどのデータ放送、防災ポスター・Aページ（※要配慮者向け）、気象庁ホームページなど <input type="checkbox"/> 防災マップの確認（避難場所の確認） <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備状況の確認	<input type="checkbox"/> 役割分担の確認 <input type="checkbox"/> 避難誘導の要領 <input type="checkbox"/> 必要物資の確認（緊急避難場所開設に資するもの） <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒情報等の伝達確認
<input type="checkbox"/> 防災マップの確認 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備状況の確認	<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒情報等の伝達確認
<input type="checkbox"/> 防災要員確保、誘導方法の確認 <input type="checkbox"/> 自主防災会本部開設の要領 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備状況の確認	<input type="checkbox"/> 避難があった地域の自主防災会へ情報伝達、避難等の指示を行うことによる指示 <input type="checkbox"/> 要配慮者へ避難準備を指示
<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒情報又は避難準備情報が発令されたとき <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備状況の確認	<input type="checkbox"/> 避難準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 避難準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 避難準備状況の確認
<input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備状況の確認	<input type="checkbox"/> 避難準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 避難準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 避難準備状況の確認

みやこ学区 緊急避難場所

①みやこ中学校
状況に応じて、多目的ルームの上階を避難場所として開設
②市社に（みやこ第二学区内）
③（会社に連絡が取れ、OKが出れば）防災株式会社